

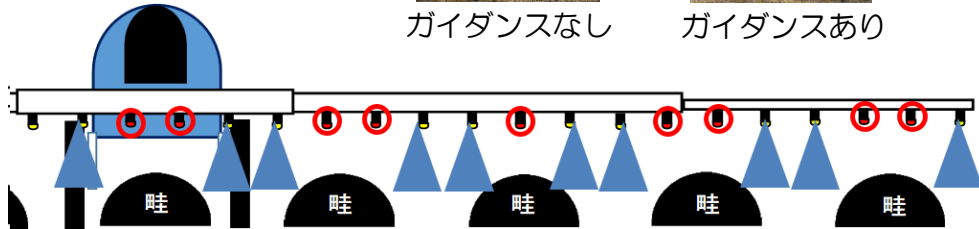
黒大豆の規模拡大で所得UPを！



ガイダンスなし



ガイダンスあり



マルチ敷設圃場へのboomスプレーヤの乗り入れと噴射ストップ噴口（○で囲んだ噴口）

開発のねらい

黒大豆のマルチ栽培では、所得向上のため、家族労働力だけで規模拡大できる省力栽培技術が求められています。そこで、規模拡大の阻害要因の一つとなっている、人力による畦間への除草剤散布を省力・低コストに行う方法を明らかにしました。

新技術の概要

- 除草作業にはboomスプレーヤを用います。この時、黒マルチ上部の噴口に無孔キャップを取り付け、畦間だけに除草剤を散布すると、薬液が半減できコストが抑えられます。
- boomスプレーヤの走行には、マルチが等間隔でまっすぐ敷かれている必要があります。しかし、初心者にはこの作業は困難なため、自動操舵機能を追加したRTK-GNSSガイダンスシステム*の導入が有効です。
- これらの技術の導入により、畦間除草時間の短縮、軽労働化が可能となり、家族労働力だけで規模拡大と所得向上が両立できます。

*RTK-GNSSガイダンスシステム

基準点と観測点の2つのポイントを同時に観測する測位方法で、誤差は数cm程度と非常に精度が高い。

活用場面

黒大豆マルチ栽培の規模拡大を目指す経営体で活用できます。また、boomスプレーヤは病害虫防除にも活用できるため、一層の省力化が可能です。